

未来への責任予算

☎ 財政課 ☎ 0538-37-4883 FAX 0538-36-8954

予算とは、1年間の収入と支出をあらかじめ見積もることです。4月から始まる新年度を前に市議会で議決し決められています。年度内に行われる事業は、この予算に沿って執行されていきます。直面するさまざまな変化にしなやかに対応し、「安心できるまち・人が集まる磐田市」を目指す本年度の予算を、主な事業とともに紹介します。

令和5年度予算基本目標

安心できるまち・人が集まる磐田市

予算規模の概要

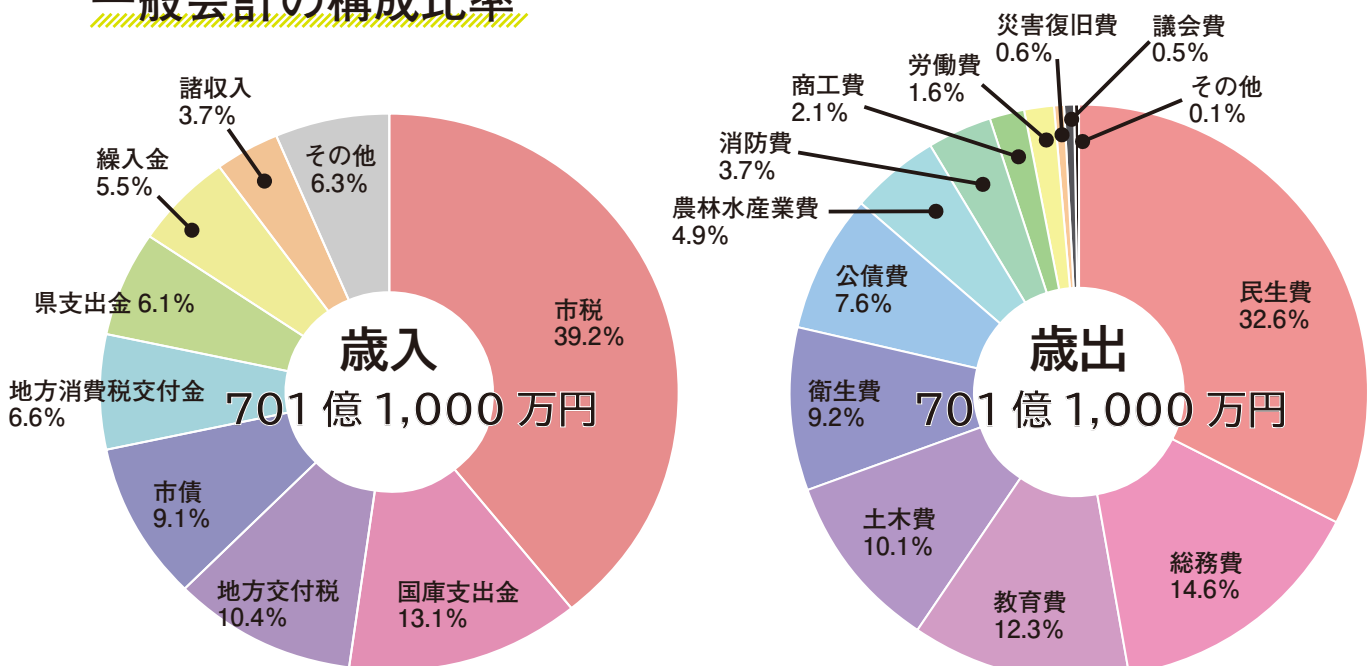
会計名	予算額	前年度比
一般会計	701億1,000万円	↑8.1%
特別会計 (国民健康保険・介護保険など)	320億2,593万円	↓1.5%
公営企業会計 (水道・下水道・病院)	375億6,967万円	↓0.2%
合計	1,397億 560万円	↑3.5%

一般会計は、災害復旧費を含めた防災・減災対策費の増額、海岸堤防の整備や向陽学府小中一体校の整備推進に加え、物価高騰に伴う光熱水費等の増により、増額となりました。

特別会計は、被保険者数の減などに伴う給付費の減少による国民健康保険事業特別会計の減により、減額となりました。

企業会計は、大島排水ポンプ場建設工事費や汚水管渠新設工事費など、下水道事業会計の減により、減額となりました。

一般会計の構成比率



※四捨五入による端数処理のため、各区分の数値を合計した場合、合計数値と一致しない場合があります

政策推進の

5つの柱

子どもたちの安心

今を生きる子どもたちや将来生まれてくる子どもたちのために、子育て家庭を支え、今悩みを抱える子どもや大人たちが、より良く暮らせるまちづくりを進めます。

また、歴史や文化、スポーツなどの地域資源や、ICTを利用した最先端の教育により、令和をしなやかに生きることができる、たくましい若者に育てます。

暮らしと健康の安心

誰もが安心して医療や介護を受けられるよう、これからの見据えた医療提供体制の整備や地域医療にインフラづくり、地域包括ケアシステムを推進します。

また、障がい者の自立を促進し、「互いに思いやりを持てる、誰一人取り残さないやさしいまち」を目指します。

未来と仕事の安心

地域産業の活性化、雇用創出のため、企業の新たな取り組みや事業継続を支え、関係機関との連携や創業・起業への支援を推進します。

まちづくりと防災への安心

市民の生命と財産を守るため、磐田市国土強靱化地域計画に基づいた防災・減災対策を進め、災害に強いまちづくりに取り組みます。

また、地球温暖化防止のためのカーボンニュートラルの推進や、将来の負担を抑える公共施設・インフラの整備および維持管理を進めます。

安心できる市役所づくり

若者や子どもたち、世代や性別を越えた多様な対話を進め、なんでも相談できる「安心できる市役所」を目指します。

民間企業との連携や専門人材の活用を進めるとともに、地域の資源を磨き、価値を高め、魅力ある地域づくりを推進します。

重点的に取り組む2つのポイント

磐田市の「未来を守る」「未来を創る」ことにつながるよう、市民が安心して暮らせるまち、市外や県外から人が集まる磐田市にするために、予算のテーマを「未来への責任予算」とし、令和5年度において重点的に取り組むものとして、次の2つのポイントを据えています。



誰もが安心できる子育て

子どもたちをど真ん中において、出会いから子育てまで、それぞれのライフステージに合わせ切れ目のない支援を行うことで、誰一人取り残さない子育てサポート体制を整え、豊かな未来が描ける環境づくりを進めていきます。



防災・減災対策

台風15号で被災した地域の1日も早い復旧に向けて事業を進めていくとともに、次の災害発生時に迅速な対応ができるように新たなシステム構築と、災害に強いインフラ整備を進め、市民の安全と安心を守る対策を強化します。

5つの安心プロジェクト

令和5年度磐田市当初予算の中から、新規事業や拡充事業を中心に、政策推進の5つの柱に沿った事業を紹介します。



子どもたちの安心

1 寄り添い型子育て支援「iぼーと」 1億1,105万円

妊娠期から出産、子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援を充実させ、経済的支援を一体として実施することで、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備します。



寄り添い型子育て支援
(イメージ)

2 若者(39歳以下)、子育て世帯の移住定住支援 7,000万円

若者世帯の移住定住先として磐田市が選ばれるために、空き家の活用を目的とした中古住宅リフォーム事業費補助金を若者移住定住者向けに拡充します。

3 発達支援センター「はあと」の早期相談体制の充実 4,220万円

発達に心配のある子どもやその保護者に対して、乳幼児期から成人期までのライフステージに応じた一貫した支援を行うため、相談支援体制の充実を図ります。



向陽学府小中一体校
(イメージ)

4 向陽学府小中一体校の整備促進 9億993万円

向陽学府小中一体校整備に向けて、実施設計および仮設校舎の建設工事や既存校舎の解体工事などを実施します。



暮らしと健康の安心

1 生活困窮自立相談支援体制の充実 2,713万円

生活困窮者の自立に向けて、有資格者や経験者など専門性の高い相談支援員を常に配置し、複雑化する相談に包括的に対応する体制を充実させます。



デマンド型乗合タクシー

2 地域ボランティアによる高齢者移動支援 80万円

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域のニーズに対応する地域ボランティアによる高齢者移動サービスを支援し、運転免許証返納後の日常生活の移動手段を確保します。

3 ゾーン30プラス 交通安全対策整備工事 500万円

大泉町地区内にあるゾーン30区域内に、新たにハンプや路面表示などを設置することで流入する車両の速度低下を促し、生活道路における歩行者などの安全な通行を確保します。



ゾーン30



まちづくりと防災への安心

1 海岸堤防整備の推進 21億7,390万円

令和8年度完成を目指し、第4次地震被害想定レベル2の津波に対応した静岡モデルによる海岸堤防の整備を推進します。

2 台風15号の被災地域の災害復旧事業 4億6,020万円

借上げ型応急住宅の提供、下田橋の復旧工事など台風15号の被災地域の復旧事業を進めていきます。

3 災害時における新たなシステム構築 2,120万円

迅速な罹災証明書の発行や、災害時にリスク情報をリアルタイムで集約し避難情報の発信に活用するため、新たなシステム構築および導入を行います。



海岸堤防
(令和5年3月撮影)



未来と仕事の安心

1 次世代産業立地促進事業費補助金 3億円

製造業に続く新たな産業の創出を目指し、ICT技術などを活用して、社会的課題の解決に取り組む民間事業者が行う立地事業を支援し、産業の高度化、経済の活性化、および新規雇用創出を図ります。

2 静岡ブルーレヴズ中学生一斉観戦 940万円

静岡ブルーレヴズの活動拠点である磐田市に暮らす子どもたちが、地元ラグビーチームの応援を通じて、スポーツのまち磐田の市民であることに誇りを抱くきっかけとします。

3 大河ドラマを活用した交流人口増の取組 1,011万円

大河ドラマの放送をきっかけとし、磐田市と徳川家康とのつながりを活用したツアーや講演会などを開催し、交流人口の増加を図ります。



中学生一斉観戦
(イメージ)



安心できる市役所づくり

1 地域おこし協力隊の活用 479万円

都市部などの人材を「地域おこし協力隊員」として委嘱し、農林業に関わりながら、磐田市の豊富な資源を守る方法を学び、地域協力活動を行ってもらうことで、当該地域の維持、活性化を図ります。

2 防災専門人材 防災戦略監の任用

市の災害対応力を強化するため、自衛隊出身の人材を「防災戦略監」として登用し、専門的な知見・ノウハウを取り入れます。

3 「書かない」「行かない」の実現 1,216万円

電子申請システムの機能追加、公共施設のWeb予約の拡充やスマートロックの導入など、窓口に行かなくてもサービスを利用できる、もっと便利な市役所を目指します。



スマートフォン決済を用いた
市税の支払い